

<b>入山辺地区</b>	平成28年度	推進交付金：500,000円
--------------	--------	----------------

<b>取組み1 入山辺地区の将来ビジョンを考える会</b> <b>(愛称:こんな山辺にするじゃん会)</b>	推進交付金の活用
	有

### 1 目的

入山辺地区の将来ビジョンを考える会（愛称：こんな山辺にするじゃん会）は、平成23年11月に発足した団体です。市内でも高齢化が進む入山辺地区で、地区関係団体役員と地区外も含む有志で組織し、住民自らが地域課題に向き合い、その課題解決に向けて具体的に行動していくことを目的に、毎月の学習会と意見交換を重ねて「住んでみたい、訪れてみたい入山辺」を目指した活動を展開している「会」です。

この「会」の取組み自体が、入山辺地区の地域づくりを意図した活動で、地域づくり推進交付金は、全額「会」活動の費用として活用しています。

### 2 取組み

#### (1) 学習会の開催（毎月第2火曜日）

松本大学白戸教授を招き、定例開催を継続。毎回約30名が参加。従来までの3つの柱に沿ったグループでの話し合いをさらにすすめ、地域課題を改めて見つめ直し現在の課題や目的に即した活動とするため、平成29年1月から新グループによる討議を重ねました。



#### (2) 今年度の具体的な行動

##### ア 観光と魅力発信

(ア) 集落等案内看板の製作・ワイナリー掲示板へ13町会名を表示



##### (イ) ホームページの更新

※[するじゃん新聞](#)で検索

(ウ) 藤棚の設置



イ 食農振興

(ア) 蕎麦の栽培

(イ) 田んぼのわプロジェクト



ウ 住み易い地域づくり

(ア) 景観整備 (植樹)

(イ) goenの会による新聞玉合戦



3 今後の展開

平成29年1月から5月までの5カ月にわたるグループ討議を通じて、「住んでみたい、訪れてみたい入山辺」を目指した活動を見つめ直し、さらに進めるために必要な取組みは何かを問う機会となりました。

29年度以降も、学習と意見交換、実行を重ねながら、住民自らが住みやすい地区にするための活動の輪が広がるよう取組みをすすめていきます。